
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.111 2018/5/1

1 有毒植物による食中毒防止の徹底について

4月26日、厚生労働省は医薬・生活衛生局食品監視安全課長名をもって各都道府県等衛生主管部（局）長宛標記通知を出した。その主な内容は次のとおり。

毎年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物を食用の植物と誤って喫食したことによる食中毒が多く発生している。本年も別添のとおり、イヌサフランを誤食したことによる死亡事例が発生しているほか、スイセンを誤食したことによる食中毒事例が複数例報告されている。

ついでには、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう、継続的に消費者に注意喚起を行うとともに、必要に応じ、農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導を行うようお願いする。

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzentu/0000204883.pdf>

2 殻付き卵に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella Braenderup）感染アウトブレイク

国立医薬品食品衛生研究所の安全情報部食品安全情報（微生物）No.09/2018（2018.04.25）に標記記事が掲載されている。その主な内容は次のとおり。

米国疾病予防管理センター（US CDC）、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella Braenderup）感染アウトブレイクを調査している。

2018年4月16日までに、S. Braenderup アウトブレイク株感染患者が9州から計23人報告されている（図）。WGS解析により、本アウトブレイクの患者由来分離株は遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この遺伝学的近縁関係は、本アウトブレイク患者の感染源が共通である可能性が高いことを意味している。

疫学・追跡調査および検査機関での検査から得られたエビデンスは、Rose Acre Farms社が生産した殻付き卵が本アウトブレイクの感染源である可能性が高いことを示している。

2018年4月16日、Cal-Maine Foods社は、Rose Acre Farms社から納入されたノースカロライナ州Hyde郡の農場由来の卵を自主回収すると発表した。

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2018/foodinfo201809m.pdf>

3 HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)の開催について

(一社)日本食肉加工協会は、標記講習会を6月12日(火)から6月15日に開催する。会場はEBIS303(エビススバルビル5階、東京都渋谷区恵比寿1-20-8)、定員は40名、申込み締め切りは5月11日(金)。受講を希望される方は受講申込書に記入の上、(一社)日本食肉加工協会宛にFAXで申し込む。定員まで残りわずかとなっている。

*開催案内、受講申込書は本メールの添付ファイルとしています。